SAJ
サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.3

2018.11月号

首都と地方の格差を実際に見ていただきました

SAJ カンボジア 教育支援視察ツアー

8月28日～8月31日でSAJカンボジア教育支援視察ツアーを開催。今回は合計41名の方にご参加いただきました。
皆さまに学校贈呈式にご参列いただき、DVD 事業の撮影スタジオ、SAJ Farm や、「夢追う子どもたちの家」も訪問。孤児院の卒園生たちとの食事会も楽しんでいただきました。
首都プノンペンの発展の様子はめまぐるしく、実際に支援を必要とする地方との格差を感じました。今回、贈呈式が行われた学校はプノンペンから約3時間のプレイヴェン州にあるサンボアー小学校でした。学校周辺の道路は舗装されておらず、でこぼこの土の状態。水田も広がっており、車では通るのが難しい細道を歩いて行くと集落があります。上下水道の整備はしっかりされておらず、電気も通っていない家庭もありました。首都と地方の格差を実際に見ていただくことができ、参加者の方々からは「必要なところにしっかり支援が届くようにしてほしい」「こんなに都市部との差があると思っていなかった」などの感想もいただきました。沢山のご意見もいただき、今後は行程・内容などについても見直しを行い、より良いツアーを開催できるようにして参ります。

皆様からの会費・寄附は「1 円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費	一般寄附	指定寄附（使い道を指定する寄附）
会員会費（年額）1 口　12,000 円 法人会費（年額）1 口 120,000 円	用途は指定しないで金額も自由な寄附	●学校建設寄附 (1) 一口寄附（一口 100,000 円）、(2) 一棟寄附　●ふれあいサポートプラン（一口 12,000 円から） ●食の支援寄附（金額自由）　●孤児院運営寄附（金額自由）　●孤児院運営会費（12,000 円 / 月） ●孤児院里親会費（12,000 円 / 月）　●奨学金寄附（金額自由）　●学校運営寄附（バングラデシュ）（金額自由）

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

1

学校運営支援【NDMHS 学園祭を実施】

NDMHS での学園祭は 3 年目になります。今年度から 2 日間実施をしました。昨年は、ハリケーンの影響で開催できませんでしたが、今年は晴天に恵まれ多くの方が来場して下さりました。ステージ上では各学年による催し物、グラウンドでは生徒たちが自ら考えた出店、そして教室内では生徒たちの作品を展示してあり、生徒含め、皆さんに楽しんでいただける素晴らしい学園祭となりました。(NDMHS 校長　古澤)

2

孤児院運営支援【誓約書】

運営 11 年目に入った「夢追う子どもたちの家」では、子どもたちが「孤児院での約束を守らない」という問題が発生しています。そこで、中学 3 年生以上の子どもたちを対象に、園にいる為には守らなくてはならないこと、そしてその約束を守れなかった場合の罰則が書かれた「誓約書」をつくりました。今回の教育支援ツアーで渡邉理事長から子どもたちへ、一人ひとりその約束を確認しました。子どもたち全員が約束を守って園の生活をしていくことを誓い、サインをしました。
(副園長　平江)

3

孤児院運営支援【子どもの家庭再調査】

カンボジア全土で以前より暮らしが豊かになってきていること、「夢追う子どもたちの家」開園から10年が経ち、孤児院では禁止している携帯電話やお金の持ち込みをする子どもが増えました。そのことをきっかけに、入園して3年以上経っている子どもの家庭を再調査しました。入園して10年経っても状況の変わらない家庭がある一方で、3年前までは家も無く親も不在でしたが、現在は出稼ぎから戻ってきていたり、再婚をしていたりと環境が変わり、両親がいて立派な家を建てている家庭もありました。
現実を受け止め、子どもによって本当に必要な支援は何か、今後はどうするべきなのかを検討し、新たな在園基準を設け社会福祉局との話し合いを進めて参ります。（副園長　平江）

入園調査時と変わらない家庭

冷蔵庫やパソコンを所有する家庭

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/

こちらから

会費・寄附金のお振込み

- 郵便局：00140-5-345903
- 三井住友銀行：蒲田支店（普）4353626　口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

第 186 回 SAJ 理事評議員会が、2018 年 9 月 28 日行われました。議案は下記の通りです

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事
渡邉美樹

■理事
鳥井親一、清水和雄、武長彩子、磯野健雄

■業務執行理事
青木茂雄

■評議員
大江光正、清水邦晃、佐藤誠、高橋亮、大城慶正、白柳直美

■監事
片山進平、小田剛志

議案 1. 2018 年度後期建設校について

合計 7 校の承認をいただきました。

議案 2. 卒園生ダエット・パンナーの奨学金について

現在働いている会社で働きながら、大学へ通いたいとの要望があり事務局長が面談を行った経緯を説明。承認をいただきました。

議案 3. 孤児院の在園基準について

入園時には正当な理由があり入園していたが、年月が経ち実家の状況が大きく変化している場合が散見される。『孤児院は身寄りがなく、貧しくて学校に通えない子どもたちのためにある』という基本に立ち返り、在園基準を明確に定め、社会福祉局の同意のもと、在園基準を満たさない子どもは実家に帰すこととする。渡邉代表理事より説明がなされ、承認をいただきました。

議案 4. 孤児院高校進学基準・大学進学基準について

現地カンボジア職員より要望があり、基準を設定。園のルールを遵守し他の子どもたちの模範となっているかを評価する。すべての孤児院職員が進学に相応しいと判断した場合のみ高校 / 大学への進学を認めることを承認いただきました。

議案 5. カンボジア現地職員の給与・評価基準ついて

カンボジアの法定最低賃金、給与の現状の説明後、初任給および昇給額、評価方法と評価基準に関して承認をいただきました。

SAJ Farm

9月～10月のファーム

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

トラクターの体験中

孤児院の子どもたちが農業実習

孤児院「夢追う子どもたちの家」の子どもたちが SAJ Farm へ 4 泊 5 日で実習に来ました。今年は 9 月 17 日から始まり 10 月 19 日まで 3 つのグループに分かれ、子どもたちに孤児院ではできないたくさんの事を体験してもらいました。

レモングラスの収穫、田植え以外にもプノンペンで野菜の出荷や、石鹸の作り方の見学。そしてトラクター、車の運転を体験してもらうことにしました。実習期間中、子どもたち全員が新しいことに夢中でとても充実した顔をしていました。農場スタッフも子どもたちに教えることで自分自身が成長したことを感じている様子でした。この実習期間の間に子どもたち自身が、農業に関わることで何か一つでも興味を持つものができたらとても嬉しく思います。（農場長 角井）

日本式の田植え作業中

スタッフ紹介

今回はソピアリー先生に質問をして答えていただきました。

孤児院「夢追う子どもたちの家」 園長 アン・ソピアリー先生

Q: 孤児院で働くようになったきっかけは？

2009 年 4 月から孤児院で園長として働いています。以前は SAJ が建設した「ウォッチャー小学校」の校長をしていましたが、視察で小学校を訪れた渡邉代表理事と、前事務局長から是非一緒に働きたいと声を掛けられたことがきっかけです。

Q: この仕事の楽しいところは？

孤児院を卒園した子たちが勉強を頑張っていると聞いた時や、問題の多い子が指導をした後に変わろうと努力している姿を見た時です。

Q: 仕事の大変なところは？

子どもたちの反抗期。小さな子たちは反抗してもすぐに切り替えられるけれど、大きな子は難しいです。

Q: 日本に行くことが出来たら何がしたい？

温泉に行ってみたい。カンボジアでは裸の付き合いという習慣がないので。ワタミの本社へ行ってみたい。カンボジアにないもの全てを体験したいです。

子どもたち、現地職員、日本人職員からも信頼の厚いソピアリー先生。日本語での挨拶を一生懸命練習しています。孤児院を訪れた際には是非声をかけてください。

代表理事メッセージ　オークンチュラーン

カンボジアにナウ・スレイノーイという女の子がいます。彼女は 11 年前、孤児院で引き取りました。両親はエイズで亡くなっていました。孤児院に入ってしばらくの間、彼女は口をききませんでした。私が話しかけても返事もせず、ただじっと睨んでいました。後日話を聞くと「売られるかもしれない」と思っていたそうです。
中学 2 年生のとき、彼女にスイッチが入りました。「日本とカンボジアの懸け橋になる」という夢を見つけたのです。私に泣きながら「日本語の辞書を貸してほしい」と言ってきました。「買ってほしい」ではなく「貸してほしい」です。早朝から深夜までの猛勉強の末、カンボジア王立プノンペン大学外国語学部日本語学科に入学します。ポーサット州という田舎の孤児院からでも一流大学に合格できることを、彼女は身を以って後輩たちに示しました。彼女の後、続々と後輩たちが大学に進学しています。
大学を卒業した彼女は、給与の高い外資系企業を選ばず、再び孤児院に戻ってきてくれました。中学 2 年生の時に抱いた夢を叶えるために。今、彼女は孤児院で職員として働き、子どもたちに日本語を教えています。心があたたかくなるナウ・スレイノーイの物語。皆様からの支援によって起きた素敵な「奇跡」です。

2008 年 13 歳入園前
調査の時のスレイノーイ

現在のスレイノーイ
孤児院にてスカイプ通訳中

代表理事　渡邊美樹

支援者様メッセージ　古川 育子様

この夏、高校 2 年生になった里子ソッパリンに会いに初めて孤児院を訪れました。5 歳から入所している娘は元気そうで、読書が好きだと書棚をみせてくれました。大学へ行って将来は警察官かデザインの仕事をしたいと語り、私に感謝の気持ちを伝えてくれました。会えたこと、素直に成長してくれたことがとても嬉しかったです。これもスタッフの皆様が子ども達を大切に育ててくださっているからこそと思いました。本当にありがとうございます。
孤児院には電気はあっても節約のために冷蔵庫を置かないことや、食事は毎食自分達で火を起こして作っていることには驚きました。カンボジアでは地方でも携帯電話は普及していますが、ライフラインは整備されていないのだなあと感じました。
今回、私は自分ができることはしようとあらためて思いましたが、人々の命のためにもカンボジアの田舎には一日も早く上下水道を整備してほしいです。

ご支援いただいた寄附

2018 年 9 月度

今月の寄附金合計	15,473,009 円
（内訳）	
会員会費	1,723,117 円
一般寄附	1,257,178 円
指定寄附合計	12,492,714 円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略）※法人名、団体名は 2018 年 4 月現在のものです。

SFP ホールディングス株式会社
合計 91 店舗

SOMPO ケア（株）
SOMPO ケアハッピーデイズ藤沢大庭

ワタミ（株）
ワタミ手づくり厨房相模原センター

ワタミ（株）
「ミライザカ」成増北口店

ワタミ（株）
「和民」平塚店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局への持参にて承ります。

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額（2001 年度～ 2017 年度）	26 億 8,827 万 8,305 円
現在、SAJ の建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数（2018 年 3 月現在）	90,140 人
SAJ の建設した学校でお米を受け取った児童数の累計（2006 年度～ 2017 年度）	8,556 人
建設した学校の合計（2001 年度～ 2017 年度）	268 校
ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計（2003 年度～ 2017 年度）	11,479 人
SAJ の建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計（2006 年度～ 2017 年度）	99,296 人

今後の予定

10 月 28 日～ 11 月 7 日
孤児院 OB・OG 日本研修

11 月 18 日
「プノンペン・クリーン・シティ・チャレンジ」孤児院日本人スタッフ・SAJFarm 日本人スタッフ参加

11 月 21 日
孤児院　バーベキュー大会

11 月 23 日
孤児院　遠足

11 月 26 日
第 188 回理事評議員会

編集後記

サバーイ通信 Vol.3 が発行されるころ、孤児院を卒園して大学生 3 年生になった 5 人が日本研修で来日中です。沢山の人数を受け入れる事も初めてです。日本の歴史や文化に触れ、様々なことを体験し多くの学びを得られる有意義な時間を過ごして欲しいと思います。

募金箱の新規設置や交換、SAJ の活動に関するご意見、ご質問はお気軽に SAJ 事務局までお問い合わせ下さい。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043　東京都大田区羽田1-1-3
TEL：03-5737-2773
FAX：03-5737-2793
Eメール：sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp

発行 公益財団法人 School Aid Japan　編集 公益財団法人 School Aid Japan　デザイン ワタミ株式会社　制作部
vol2：2018.10.30 日号